

【和歌山県和歌山市】令和3年度 重層的支援体制整備事業

1 自治体概要

人口：363,573人 世帯数：176,293世帯 面積：208.85 km² 高齢化率：30.72%

2 重層的支援体制整備事業に取り組んだ背景・課題や、取組の理念

和歌山市では、全国的に高齢者人口がピークになると考えられている2040年を待たずに高齢者人口のピークを迎え、今後横ばい傾向で推移するものの、少子高齢化・人口減少を背景に高齢化率は上昇し、2040年には高齢化率が36.4%になると見込まれています。これまでと同じように65歳未満の世代が高齢者を支える仕組みを続けることが難しくなることが予想され、市民一人ひとりの支え合い・助け合いの力が必要となってきます。

また、単身世帯の増加、地縁・社縁の希薄化などの社会情勢の変化から、生活課題は複雑で複合的なものになり、行政や支援機関、地域が分野横断的に力を合わせて課題に取り組む必要が出てきました。

支える側と支えられる側に分かれることなく、様々な主体が世代と分野を超えて「つながる」ことで、市民一人ひとりが元気に暮らせる地域共生社会の実現をめざして重層的支援体制整備事業に取り組めます。

3 主要な取組事項

・相談支援に関係する体制・取組の内容

既存の相談窓口の連携強化に取り組んでいます。

・参加支援に関する取組の内容

地域や世帯で抱える「ちょっとした困りごと」をお願いしたい方と、お手伝いできる方をつなぐ「ふれあいサービス」事業を広めています。

・地域づくり支援に関する取組の内容

地域住民が主体となって地域課題を協議する場を設け、協議の機会づくりを行っています。ある地域では、地域活動組織を起ち上げ、地域交流に関するアンケートを行い、その結果を受けて、コロナ禍でも可能な交流会やラジオ体操を実施するとともに、地域限定の「地域交流スタンプカード」をつくり、貯めた交流ポイントを地域で利用できる仕組みをスタートさせました。

また、地域子育て支援拠点では、親子参加のイベントに民生委員や地域団体の皆さんがお手伝いや見守り活動に来てくださったり、イベントを行うにあたり所有物件を貸していただいたり、地域での交流の輪が広がりつつあります。ある地域の拠点では、支援が必要な家庭のケース会議に参加するなどして、支援の一役を担っています。

お茶会の様子



ラジオ体操の様子



地域交流スタンプカード

